

■「東海大学研究フォーラム2010」で研究概要を公開しました



3月5日に湘南キャンパスで行われた「東海大学研究フォーラム2010」(主催:学校法人東海大学総合研究機構/東海大学研究支援・知的財産本部)に、理学部からも多数の教員が参加して、それぞれの研究活動の概要や成果を発表しました。

このフォーラムは、学内のプロジェクト研究や各種助成の対象研究を一堂に集めて公開する催しで、東海大学の研究力を社会に発信し、情報交換と人材交流で研究の活性化を図ることなどが目的です。当日は、人文・社会系、理工系、生物系など多様なフィールドから約170人の研究者らが参加し、総合研究機構が推進・助成しているプロジェクト研究11件のプレゼンテーションを行ったほか、ポスターセッションで、研究補助計画30件、沖縄研究助成5件、連合後援会研究助成9件、附置研究所コアプロジェクト10件の研究内容・成果を発表しました。

本学部からは、物理学科の八木原晋教授と化学科の冨田恒之講師がプレゼンテーションを行ったほか、会場内で開かれたポスターセッションに3件の研究を出展しました。

「化学的アプローチによる高機能光触媒材料の開発と新たな環境浄化技術への応用」をテーマにプレゼンテーションを行った冨田講師は、「このフォーラムは、学内で研究成果を発信できる大変貴重な場です。今後は、さまざまな分野での応用研究につながるといいと考えています」と感想を語っています。

■プレゼンテーション

◇総合研究機構 プロジェクト研究発表[大型]

「水構造の直接観測に基づく総合研究―水構造の意味と水構造プロジェクトがめざすもの―」 八木原晋教授(物理学科)

◇総合研究機構 プロジェクト研究発表[小型]

「化学的アプローチによる高機能光触媒材料の開発と新たな環境浄化技術への応用」 冨田恒之講師(化学科) 関根嘉香准教授(同) 伊藤建講師(同) 三上一行講師(同)

■ポスターセッション

◇総合研究機構 研究奨励補助計画

「高分子溶液における温度勾配を外場とする非平衡系分子物性研究」

喜多理王准教授(物理学科)

「溶液化学的手法による光触媒超微粒子の合成と高活性への新規アプローチの開拓」 冨田恒之講師(化学科)

◇総合研究機構 沖縄研究助成

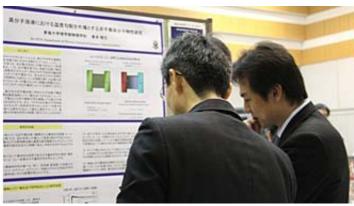
「東海大学研究フォーラム2010」で…

「西表島の周辺海域および河川水の水質調査」

三浦恭之教授(化学科) 三上一行講師(同) 鶴岡靖彦教授(物理学科)

河野裕美准教授(海洋研究所) 水谷晃研究員(沖縄地域研究センター) 小松真治講師(化学科)









■ 前の記事へ

記事一覧へ

次の記事へ 🕨

Copyright © Tokai University. All rights reserved.